

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」掛川校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	3月に170㎡の事業所に移転し、粗大運動などにも取り組めるなど十分なスペースを確保することができた。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	0	3	退職や病欠などで利用者の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけした。職員が足りない時には他校舎より補充をした。11月より5名常勤、1名の非常勤で運営しているが、今年度のことを受けて、あと常勤1名の補充を考えている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	2	事業所が2階にある為、階段を上らなくてはならない。手すりを設置し、介助をして上げる十分な広さが確保されている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0	毎日申し送りの時間を設け、情報の共有を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	ガイドラインに定める期間に評価表を配布し、ご指摘いただいた内容について、また、送迎時に伺った保護者様のご意向を踏まえ改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	0	HP及び校舎入り口に掲示し、公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	2	現在検討している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	月1回以上の研修と日々の申し送りの際、わからないことなど皆で調べたり、研究したりするなどし、支援の質の向上を図っている。研修の報告書をすぐに作成し、研修に参加していない職員にも共有できるようにしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	定期的にあセスメントを実施し、個別支援計画に反映させている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	必要に応じ発達検査に利用する道具を使用し、特性を把握できるよう、研修を行いたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	主に担当者がプログラムの立案を行うが、朝礼にて職員全員で支援内容の検討を行っている。また、担当が複数人いるため、固定化しないようにしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	常に教材や課題の研究を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	0	毎回プログラムを作成し、支援に当たっている。月1の集団活動にも、参加者の特性を考慮し支援プログラムを作成している。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	個別のみならず、月1回の小集団活動を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	1対1のため、分担などはないが、支援前後や保護者との申し送りの際の安全確保のための分担を朝礼時に確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	0	次の日に行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	毎回のプログラムに子どもの表れを記録し、検証、改善を行っている
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	モニタリング会議を行い、保護者からの聞きとりをし、必要に応じ、学校に伺い、様子を把握した上で計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	2	0	こどもの特性を考慮し、その子どもにあわせた活動を組み合わせ、毎回一人ひとりプログラムを作成し、支援している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	参加できるよう勤務調整を行っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	積極的に関係機関連携会議を企画し、連携体制を築き、情報の共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	0	2	検討中。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	1	積極的に関係機関と連携をとれるよう努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	2	0	昨年度は移行がスムーズにできるよう、情報の交換はもちろん、指導員が利用者につき添い、一緒に伺った。今年度はそのような対象者がいなかった為、行っていない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	1	研修に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	現状行っていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	0	参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	支援後、日々の様子を伺ったり、課題を共有したりしている。

	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	0	0	集団の相談会「きりりカフェ」で簡単ではあるが、行っている。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	重要事項説明書に詳細を記載し、契約時説明をおこなっている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	相談を随時受け付けている。また、送迎時、受付している児発管やフィードバック中に指導員が様子を伺うようにしています。積極的に事業所内相談を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	0	集団の相談会「きりりカフェ」を開催した。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	苦情の窓口担当者を設け、迅速に対応できるよう処理体制や手順をいつでも確認できるよう掲示している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	ブログやインスタ LINE を使用し、お知らせしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	個人情報の書かれた資料や PC はカギのかかる場所に保管し、持ち出しを制限している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	特性に応じて絵カードを利用し、外国籍の保護者には母国語の書類を用意している。マカトンサインなど、伝達手段の幅を広げたい。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	4	現状行っていない。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	避難先など契約時に配布・説明し、入り口に掲示。各種マニュアルはいつでも閲覧できるようにし、定期的に確認を行っている。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	毎月様々な場面を想定した訓練を行っている。利用者や保護者の参加をお願いしている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	毎年研修を行っている。県西部地区のきりりで委員会を設置している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	重要事項説明書に詳細を記載し、契約時に説明。個別支援計画にも記載し、7 説明を行っている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	1	契約時、新年度ごと聞きとり、書面にて確認している。食事提供は行っていないが、イベントなどで市販の菓子を提供する際、その都度確認している。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	報告書を作成し、閲覧している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」掛川 校 保護者等数（児童数）：50 回収数：41 割合：82%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	39	1	1	<p>新しくなるとても広い。体を動かす機会が増えて子供が嬉しそう。</p> <p>ありがとうございます。楽しんで身体を動かせる活動を提供していきたいと思います。</p>
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	34	4	3	<p>・スタッフが少なくて大変そうです。支給日数分できなくて残念に思います。</p> <p>・ここ2か月くらい週2が週1になってしまっている。</p> <p>大勢の方からたくさん利用したいというお声をいただいておりますが、お応えできず、大変申し訳なく思っています。11月よりスタッフが増えましたが、今後このようなことがないように、スタッフをもう1名増やして対応を考えたいと思います。</p>
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	11	6	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	38	2	1	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	37	4	0	<p>学習支援につながるような課題がもう少し欲しい（国・算に繋がる力）</p> <p>直接希望を職員にお伝えいただければ、ご検討いたしますので、遠慮せず、おっしゃってください。</p>
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	14	20	コロナ禍なのでなくていいと思います。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	41	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	39	3	0	<p>毎回、様子を詳しく説明してくれるのでわかりやすいです。</p> <p>ありがとうございます。</p>
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	38	2	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	17	10	

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	35	6	0	・管理者から電話連絡があったり、先生方のフォローもきちんとしてくれたり、信頼しています。 ・苦情を言ったことがないのでわかりません。 ありがとうございます。まずは苦情が無くなるよう努めたいと思います。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	41	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	11	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	38	3	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	36	5	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	35	6	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	40	1	0	とても楽しみにしています。 ありがとうございます。 楽しんでいただける活動を取り入れていきたいと思えます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	38	3	0	・送迎がないため、通所が負担に感じてしまいます。 わかっていたのですが… 送迎が行えず、申し訳ございません。 ・こちらの要望について考え、よく対応してくださっています。本人に成長がみられるのは、先生方のおかげもあるのだと感謝しています。 ・年々支援内容が充実してきた。子供とともにきりりの先生も成長していると思う。これからはよろしく願います。 指導員の励みになるご意見、ありがとうございます。日々精進してまいります。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。